

空き巣被害の増加について

1 当館に寄せられる空き巣被害の相談が増加の傾向にあります。「不在時に自宅の清掃等をしてもらうため、ハウスキーパー等に鍵を預けている間に現金や貴重品を窃取された」というような被害に遭われた方の相談が最も多いことから、当地在留の皆様には下記の点につきご注意ください。

(1) 自宅の鍵は他人に預けないことを原則としてください。ハウスキーパー等に自宅の清掃等を委託する場合は、努めて作業の現場に立ち会うようにしてください。

(2) 諸事情により作業の現場に立ち会うことができず、やむを得ず鍵をマンションのセキュリティ等に預ける必要性が生じた場合は、可能な範囲で自宅から現金・貴重品等を持ち出し、別の場所に保管してください。自宅に金庫がある場合は、その金庫がある部屋を施錠し、清掃等の作業をさせないでください(金庫ごと窃取されたケースも報告されています。)

2 ピッキングによる施錠解錠、バール等によるドアのこじ開け、窓ガラスの破壊等の手口を用いた犯行とは違い、合い鍵を使用した侵入等は、犯行の痕跡が残らないため被害の立証がとても困難です。警察やマンションの管理人等に被害申告を行っても、その申告自体の信憑性を疑われる場合もあります。

3 ドバイ首長国を始め、アラブ首長国連邦は比較的安全な国と言われておりますが、日本と同様、犯行の機会を許してしまえば、犯罪の被害に遭う可能性が増大してしまいます。「外出するときは必ず施錠」、「鍵は他人に預けない」等、改めて防犯意識を強化し犯行の隙を与えず、犯罪被害に遭遇する可能性を少しでも軽減するようご注意ください。